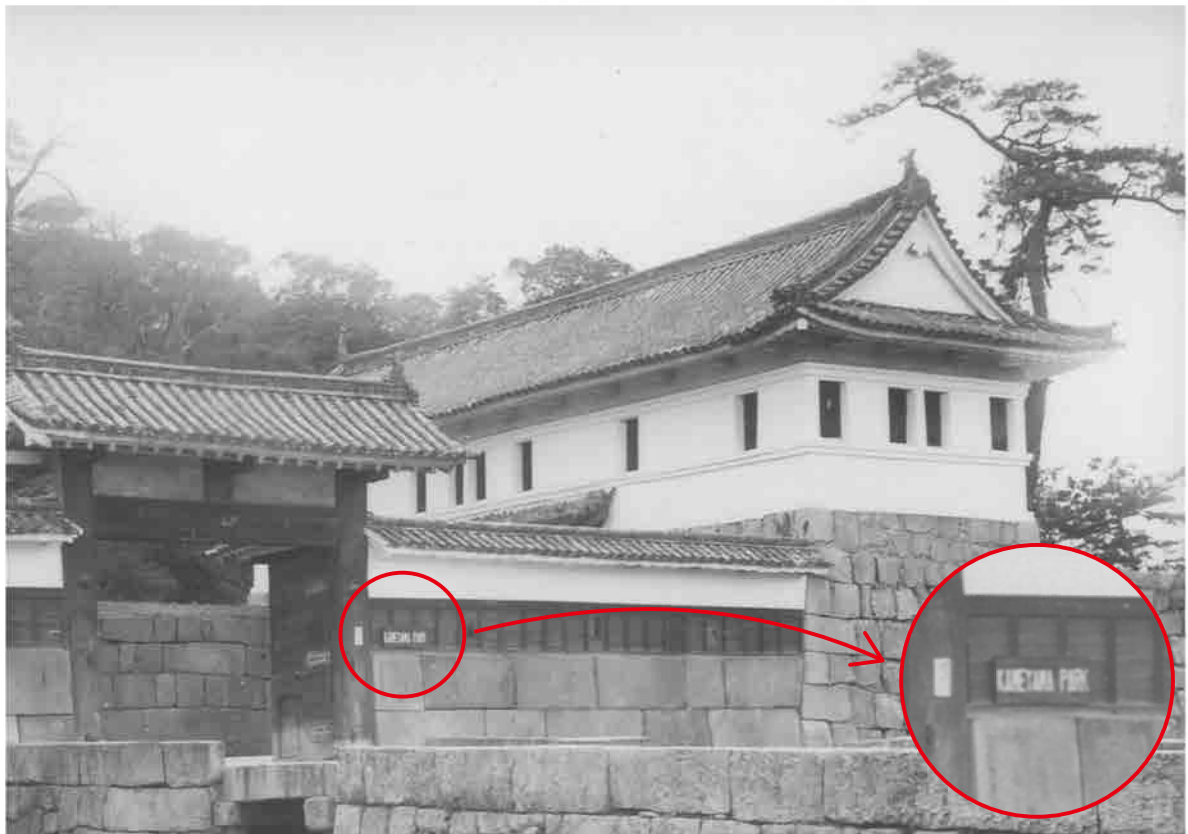




丸亀城天守 昭和 20 ~ 23 年 (1945 ~ 1948)
南東から 天守修理工事写真帳より
丸亀市立図書館蔵



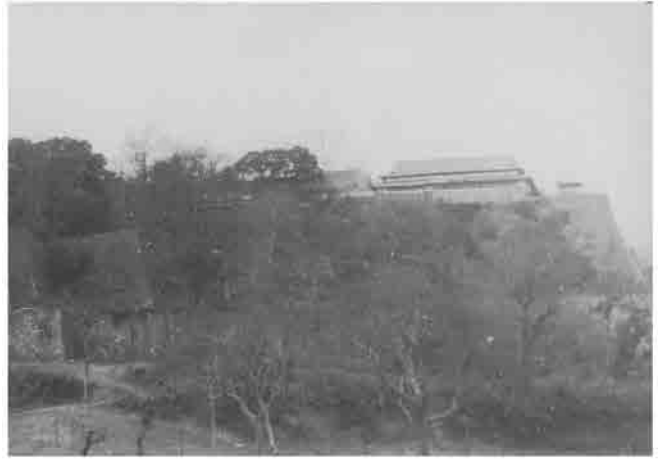
丸亀城天守 (絵葉書) 大正期 南西から
丸亀市立資料館蔵



丸亀城大手一の門・二の門 二の門の袖塀に「KAMEYAMA PARK」の札がある。
大正 8 年 (1919) ~ 戦前 北東から 丸亀市教育委員会蔵



三の丸東面にあった上水道送水管
(大正 15 年設置、平成 5 年撤去) 南東から
丸亀市教育委員会蔵



三の丸南面に建つ延寿閣
(昭和 8 年設置、昭和 60 年撤去) 南から
丸亀市教育委員会蔵



見返り坂に建つ帰厚の碑 昭和 16 年 (1941) 建立
北西から 丸亀市教育委員会蔵



本丸・三の丸・帯曲輪西面、松の大木が樹立する
西から 丸亀市教育委員会蔵



丸亀城遠景 昭和 43 年 (1968) 頃 北西から
玄関先御門修理前の写真帳より 丸亀市蔵



玄関先御門 昭和 43 年 (1968) 頃 北から
玄関先御門修理前の写真帳より 丸亀市蔵



番所・長屋 昭和43年(1968)頃 東から
玄関先御門修理前の写真帳より 丸亀市蔵



玄関先御門 昭和43年(1968)頃 南から
玄関先御門修理前の写真帳より 丸亀市蔵



丸亀城跡から見た北西方向の景観
昭和29～38年(1954～1963)頃
丸亀市教育委員会蔵



丸亀城跡から見た北側大手先 旧軍隊の営舎
昭和29～38年(1954～1963)頃
丸亀市教育委員会蔵

丸亀城跡から見た景観



丸亀城跡から見た南側の景観
昭和29～38年(1954～1963)頃
丸亀市教育委員会蔵



丸亀城跡から見た南西部方向
昭和29～38年(1954～1963)頃
丸亀市教育委員会蔵

和暦	西暦	事柄
天正15	1587	生駒親正、讃岐に封ぜられ、引田城に入る。
天正16	1588	生駒親正、高松城築城。
文禄元	1592	生駒親正、五千余を率いて朝鮮出征。
慶長元	1596	讃岐地震。
慶長2	1597	生駒親正・一正父子、亀山に築城着手する。して丸亀城と名付ける。
慶長5	1600	関ヶ原の合戦。親正は石田三成に味方し細川幽斎の田辺城を攻め、高野山に逃れる。一正は家康に従い会津の陣に赴く。
慶長6	1601	生駒一正、讃岐の領主となる。
慶長7	1602	生駒氏、丸亀築城の時怪異ありて山北八幡宮を柞原村の息子の地に遷す。生駒一正、佐藤掃部を丸亀の城代とする。
慶長8	1603	生駒親正卒。
慶長15	1610	2月18日 生駒一正卒。
慶長19	1614	大坂冬の陣で、生駒正俊、徳川方につく。翌年の夏の陣でも同じく功あり。
元和元	1615	一国一城令により丸亀城は廃城となる。
元和7	1621	生駒正俊卒。子の高俊が家督を継ぐ。
寛永4	1627	幕府隠密の「讃岐伊予土佐阿波探索書」に丸亀城の記載なし。
寛永17	1640	生駒高俊、所領を没収され、出羽国由利郡に改易。伊予大洲加藤泰興、幕命により西讃を預かる。
寛永18	1641	山崎家治、丸亀藩主として入部。高五万石。（肥後天草富岡城三万七千石より転封。）
寛永19	1642	京都の豪商平田与一左衛門、丸亀城入札のため手代を丸亀に派遣する。
寛永20	1643	2月6日 山崎甲斐守（家治）宛老中書状。 山崎氏、新城嘗作のため幕府より銀300貫を与えられる。参勤は免除。
正保元	1644	幕府、諸藩に命じ、城郭・城下町図を調整させる。
正保2	1645	山崎氏、幕府に城の紙図木図並に御領分の絵図共を提出する。
慶安元	1648	山崎家治卒。子の俊家が家督を継ぐ。
慶安2	1649	山崎志摩守（俊家）宛老中書状。丸亀城修復、普請など指示を出す。山崎氏、城普請につき老中より指示をうける。8月9日外堀を掘る。
慶安4	1651	山崎俊家卒。子の治頼が家督を嗣ぐ。
明暦3	1657	山崎治頼卒。嗣子が無く、山崎家断絶。伊予大洲加藤泰興、幕命により西讃を預かる。
万治元	1658	將軍家綱、京極高和を召し西讃丸亀6万67石を与える。播磨龍野6万石より転封。
万治3	1660	京極高和、山崎氏未完の城普請の続行を願ひ山崎氏提出図と同じ紙図を幕府に提出。幕府老中、京極高和に山崎氏未完の城普請の続行を指示。京極刑部少輔（高和）宛老中書状。天守の作事（板札）
寛文7	1667	三の丸櫓台普請願につき紙図木図を幕府に提出。
寛文10	1670	太鼓櫓新造願につき同所の木図提出。
貞享2	1685	御城破損箇所修補願につき御城の絵図提出。
元禄5	1692	御城普請堀浚等御願につき御城の絵図提出。
元文元	1736	堀浚御願につき内外御堀の絵図提出。これは元禄五年の図の写し。
明和5	1768	東御門より北外堀汐留御願につき絵図提出。元文の図の写し。
安永6	1777	天守二重目の唐破風に安永西年の銘の鬼瓦。
明治2	1869	12月6日 城内御殿焼失、三の丸西北隅櫓類焼。
明治4	1871	廃藩置県。
明治9	1876	大部分の櫓等を取り壊す。
大正8	1919	本丸、二の丸など山上部を国から借地して開放する。
昭和18	1943	6月9日 丸亀城天守国宝指定（1950年、法改正により重文指定）
昭和元	1926	亀山公園の敷地及び外堀跡等が丸亀市へ払い下げられる。
昭和25	1950	天守解体修理完成。
昭和28	1953	丸亀城跡が国の史跡に指定される。
昭和32	1957	6月18日 丸亀城大手一の門・二の門・附東西土塀重文指定。
昭和38	1963	4月9日 丸亀城主御殿表門・番所および長屋、附土塀 県文化財指定。大手門の修理が完成する。
昭和43	1968	玄関先御門等の修理が完成する。
昭和51	1976	第1次石垣修理工事が始まる。
昭和62	1987	天守化粧直し。
平成2	1990	史跡丸亀城跡保存整備事業が始まる。
平成3	1991	第2次石垣修理工事始まる。
平成9	1997	築城400年祭が行われる。

参考文献：丸亀市教育委員会1988『讃岐丸亀城研究調査報告書』・丸亀市教育委員会監修「丸亀城の見どころ」